

ブラームスと同時代の作曲家たち 2024 (*Brahms und Zeitgenossen 2024*)

M・ブルッフとブラームス / 2 大 Vn. 協奏曲 ~2 曲と、ヨアヒムの関係~
ブラームス / P 四重奏曲 No.1 ~1861 年クララのピアノで初演~

- プレトーク / 2つのヴァイオリン協奏曲について 西原稔 (15) 2:00-2:15
- M. ブルッフ / ヴァイオリン協奏曲第1番 ト短調 Op. 26 P. 伴奏版 インタビュー付 (40) 2:20-3:00
Vn. 田中里奈 (桐朋学園大4年, 特待生) P. 市川高嶺
- ブラームス / ヴァイオリン協奏曲 ニ長調 Op. 77 P. 伴奏版 インタビュー付 (50) 3:10-4:00
Vn. 中野りな (2021年音コン1位。2022年仙台国際音楽コン1位。2023年より桐朋学園大SDコース(特待生)とウィーン市立芸術大に在籍) P. 須関裕子
- 休憩 ----- (20) 4:00-4:20
- プレトーク / ブラームスのピアノ四重奏曲について 西原稔 (15) 4:25-4:40
- ブラームス / ピアノ四重奏曲 第1番 ト短調 Op. 25 インタビュー付 (50) 4:45-5:35
Vn. 山本美樹子 (芸大博士修了) Va. 脇屋冴子 (芸大修士修了/新日本フィル)
Vc. 加藤陽子 (芸大修士修了) P. 後藤友香理 (芸大博士修了/静岡大准教授 JBS 会員)



Vn 田中里奈



P. 市川高嶺



Vn. 中野りな



P. 須関裕子



西原稔



QR コード



Vn. 山本美樹子



Va. 脇屋冴子



Vc. 加藤陽子



P. 後藤友香理



QRコードから前年演奏の試聴(音量注意)

日時

2024年12月8日(日) 2pm

チケット

一般¥5500(残席販売) 会員,友人¥5000 学生¥3000

会場

ムジク・ピアノフォーラム(駒場ピアノサロン) 70席

井の頭線, 駒場東大前駅下車, 西口改札下車徒歩5分

■コロナ対策

マスクご持参など引続き対策にご協力をお願い致します。

■後援

ハンブルク国際ブラームス協会、米国ブラームス協会

■お問合せ

日本ブラームス協会(事務局) Tel/Fax 050-3648-0002

新 [jbs1973x\(a\)jcom.zaq.ne.jp](mailto:jbs1973x(a)jcom.zaq.ne.jp) 但し(a)→@に替える。

■JBS-HP

<http://japan-brahms-society.org>

■主催サット

日本ブラームス協会(JBS since 1973)



●ヴァイオリン 田中里奈(たなか りな)

第7回横浜国際音楽コンクール第1位、第1回、第5回桐朋ジュニア音楽コンクール第1位など受賞歴多数。桐朋女子高卒業演奏会、Student Concert、室内楽演奏会に出演。2022年調布国際音楽祭に出演。ウィーン・マスタークラス2023マスタークラス受講。これまでにヴァイオリンを徳永二男、竹澤恭子、佐々木歩、ピョートルを佐々木亮、室内楽を山崎伸子、磯村和英、練木繁夫の各氏に師事。現在、桐朋学園大学音楽学部4年に特待生として在学中。

●ピアノ 市川高嶺(いちかわ たかね)

桐朋学園大学、同研究科を修了後、パリ・エコール・ノルマル音楽院、ベルン高等音楽院で研鑽を積む。UFAM 国際音楽コンクール室内楽部門1位、ポーランド・シジグアフィルとシューマンのピアノ協奏曲を共演。2018年東京文化会館リサイタルが好評を博す。これまでに鍵岡真知子、有賀和子、アントン・コロフなどの各氏に師事。現在シブヤン国際ピアノコンクール in ASIAなどの審査員を務め、伴奏・室内楽で活躍する傍ら、後進の指導にも力を注ぐ。公益財団法人日本ピアノ教育連盟会員。

●ヴァイオリン 中野りな(なかの りな)

2021年第90回日本音楽コンクール優勝。2022年第8回仙台国際音楽コンクールにおいて、史上最年少の17歳で優勝、及び聴衆賞を受賞し大きな注目を浴びる。現在、桐朋学園大学リストディプロマの全額免除特待生として辰巳明子に師事。またウィーン市立音楽芸術大学ではカウアイ・タリムに師事しCertificate of Performance修了。これまで東フィル、東響、セントラル愛知、名フィル、仙台フィル、ザルツブルク・チェンバー・ソロイスト等共演多数。テレビ朝「題名のない音楽会」に期待の若手アーティスト出演を重ねる。(一財)ITOHより1716年製アントン・ストラディヴァリウスを貸与される。

●ピアノ 須関裕子(すせき ひろこ)

桐朋学園大学卒業、同研究科を首席修了。16歳で第2回フェルニース・スタニスラフ国際ピアノコンクール第1位、併せてスタニスラフ賞、遠藤郁子賞受賞。翌年ワグネル・ショパンの生家などポーランド各地でリサイタルを行う。第18回園田高弘賞ピアノコンクール第3位。野平一郎氏プロデュース「ピアノ伴奏法講座」修了。リストとして多くのオーケストラと協奏曲を共演。NHK-BS「クラシック倶楽部」、NHK-FM等に出演。桐朋学園大学非常勤講師(ソナタ・リサイタル)。桐朋学園大学嘱託演奏員。

●ヴァイオリン 山本美樹子(やまもと みきこ)

東京藝大卒業。同大学院後期博士課程修了。『ロベ르트・シューマン《ヴァイオリンソナタ 第3番イ短調 Wo02》作品論』にて博士号(音楽)を取得。弦楽四重奏ではリゾナル室内楽セミナーにて最優秀賞受賞。東京藝術大学とウィーン音楽演劇大学の共同プロジェクト「haydn total」に参加。ヴァイオリンを岡山潔、ジェラルド・ブーレ、松原勝也の各氏に師事。東京藝術大付属高校・お茶の水女子大学非常勤講師を務める。

●ヴィオラ 脇屋冴子(わきや さえこ)

東京藝術大を経て、同大学院修了。その後ウィーン国立音楽演劇大学にて研鑽を積む。YBP 国際音楽コンクール最高位。東京藝大在学中にモントゥーコンサートに出演。また弦楽四重奏において松尾学術振興財団より奨学金を受ける。これまでにヴァイオリンを岸優子、大野かおる、川崎和憲、ジークフリート・フュリッガーの各氏に師事。2016年より新日本フィル、ヴァイオラ・フォーシェピレーを務める。

●チェロ 加藤陽子(かとう ようこ)

東京藝大を福島賞、安宅賞、同声会賞を受賞し卒業。同大学院修士課程修了後、文化庁海外派遣研修員として渡欧、ウィーン国立音楽大学大学院を修了。ウィーンフィルのソ首席マーシュー・ヴァルグ氏のもとで研鑽を積む。ウィーンフィル定期やパレに度々出演。第80回日本音楽コンクール入選、これまでに札幌響、藝大フィル、Minsker chamber orchestra等と共演。アンネ・ゾフィー・ムター、堤剛、キョッピル・カルテット、原田幸一郎、池田菊衛、磯村和英の各氏と共演。現在、国内主要オーケストラ客演首席奏者。東京藝大非常勤講師。チェロを中島顕、寺田義彦、河野文昭、山崎伸子、マーシュー・ヴァルグの各氏に、室内楽を岡山潔、松原勝也、山崎伸子、迫昭嘉、J.マイスル、P.シュマイヤー、A.クムジヤン、C.イグナーの各氏に師事。

●ピアノ 後藤友香理(ごとう ゆかり) JBS会員

桐朋女子高校、桐朋学園大学音楽学部卒業。東京藝大大学院修士課程・博士課程を修了。演奏と論文により博士号取得。ロンドン・ピアノコンクール学生部の部、優勝。助成を受けてウィーン国立音楽大学マスタークラス参加、同マスタークラス内ディレクター・コンクール第1位。第15回シューマン国際コンクールセミファイナリスト。静岡県学生音楽コンクール審査員、静岡音楽館 A01 市民会議委員。東京藝術大学非常勤等講師を経て、現在、静岡大学教育学部准教授。

●解説・司会 西原稔(にしはら みのる) JBS顧問

東京藝大大学院博士課程満期退学。現在桐朋学園大学名誉教授。同大学特別招聘教授。18、19世紀を主対象に音楽社会史や音楽思想史を専攻。著書に「音楽史ほんとうの話」「作曲家◎人と作品プログラム」「新編音楽家の社会史」「シューマン 全ピアノ作品の研究」上下巻(第26回ミュージック・ペンクラブ賞受賞)、2020年に「《トイリュイム》への道」(以上音友)。日本プログラム協会)では2002年より顧問として企画運営のアドバイスをすると共にプログラム研究の成果を「レクチャーコンサート」、会誌『赤いはりねずみ』に発表している。